

2022年6月8日  
電源開発株式会社  
丸紅株式会社  
Glencore Plc

豪州初となる石炭火力発電所由来のCO<sub>2</sub>の回収・輸送・貯留を  
一貫して行う実証事業へ参画します

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部 肇史）ならびに丸紅株式会社（以下「丸紅」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柿木真澄）は、スイスの大手資源会社 **Glencore Plc**（以下「グレンコア」、本社：スイス バーン、代表取締役社長：ゲイリー・ネイゲル）が豪州クイーンズランド州で進める「カーボン トランスポート アンド ストレージ（\*1）カンパニー（CTSCo）および CCS（\*2）プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）にそれぞれ参画し、1,000万豪ドルを拠出することについて、グレンコアと合意しました。

本プロジェクトは、CO<sub>2</sub>の回収から貯留までの技術の検証を目的とした実証事業で、豪州クイーンズランド州ダーリングダウンズに所在するミルメラン石炭火力発電所から排出されるCO<sub>2</sub>を回収し、約100km離れたCO<sub>2</sub>貯留地に輸送、地下約2kmに貯留することを計画しています。現在は実証事業の開始に必要な許認可の取得手続きを行っており、2025年からの貯留開始を目指しています。

本プロジェクトの貯留地には、近隣の産業から排出されるCO<sub>2</sub>を貯留するのに十分な能力があることが見込まれており、将来的にはCCSのハブになることも期待されています。本プロジェクトを通じて、豪州のエネルギー安全保障やブルー水素（\*3）製造などの新規産業の創出による経済発展・雇用創出に寄与します。

<豪州クイーンズランド州ミルメラン石炭火力発電所とCO<sub>2</sub>回収設備>



<豪州クイーンズランド州ムーニー近郊の CO<sub>2</sub>貯留地>



Jパワーは、2021年2月に公表した [J-POWER"BLUE MISSION 2050"](#)に基づき、これまでの再生可能エネルギーなどの CO<sub>2</sub>フリー電源拡大を加速化することに加えて、CO<sub>2</sub>フリー水素発電を実現し、2050年に向けて電力供給のカーボンニュートラル実現を目指しています。国内外で CCS の取り組みを進めることは CO<sub>2</sub>フリー水素発電の実現に不可欠であり、早期の CCS 事業に参画し知見を蓄積することで、BLUE MISSION 2050 の更なる具体化を進めていきます。

丸紅は、2022年2月に [中期経営戦略 GC2024](#) を公表し、「グリーン事業の強化」と「全事業のグリーン化推進」を通じて、グリーンのトップランナーとなることを目指しています。CCS は豪州や日本のみならず世界のカーボンニュートラル実現に必要な不可欠な技術であり、本プロジェクトで得られる知見や経験を通じて、CO<sub>2</sub>の削減が困難な産業界のカーボンニュートラル化へ貢献していきます。

- (\*1) カーボン トランスポート アンド ストレージ：CO<sub>2</sub>の回収・輸送・貯留。
- (\*2) CCS：Carbon dioxide Capture and Storage の略。CO<sub>2</sub>の回収・貯留。
- (\*3) ブルー水素：化石燃料利用 と CCS による CO<sub>2</sub>フリー水素。

<プロジェクトマップ>

